



セクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツと健康支援

看護学科

齋藤 恵子 准教授

【研究分野】
【キーワード】
【U R L】

ウィメンズヘルス、助産学、国際看護学
セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス、妊娠、出産、伝統的慣習、性教育
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pcid=143sai>



研究概要

セクシャル・リプロダクティブヘルス/ライツにおいて、日本では発達段階に応じた包括的な性教育が十分に行われていない現状、性感染症、意図しない妊娠、周産期のメンタルヘルスの問題等、多くの課題があります。さらに、日本に住む異文化ルーツのある人々（移民、難民、技能実習生、留学生等）、障がいを持つ人々、性的少数者はセクシャル・リプロダクティブヘルスサービスにアクセスし難いという課題があります。

SDGs 目標3「すべての人々に健康と福祉を」を達成すべく、日本に住む多彩な文化的背景を持つ人々を含めた人々のセクシャル・リプロダクティブヘルスサービスへのアクセスを向上することがグローバル化が進む我が国のヘルスサービスの向上に繋がると考えます。

研究紹介

日本在住の異文化背景を持つ女性の妊娠・出産・産後における母国の伝統的慣習の認識と日本の産科医療施設の対応についての研究に取り組んでいます。

1. 異文化背景を持つ女性の妊娠・出産に関する文化に配慮した看護支援
2. 途上国において家族により提供される介護と看護師の役割
3. 若者の性の健康に関する研究
4. 埼玉県在住の移民女性の出産に関する伝統的プラクティスの認識と実践

講座テーマ紹介

- ・ セクシャル・リプロダクティブヘルス：思春期の性の健康支援
- ・ 日本に住む異文化背景を持つ女性の妊娠出産に関する伝統的慣習
- ・ 諸外国の母子保健の現状を踏まえた助産師活動
- ・ 諸外国の母子保健活動、国際化時代における助産師の役割

アピールポイントなど

日本在住の異文化背景を持つ女性の妊娠・出産に関する文化に配慮した看護支援について検討したいと考えています。また、中学生・高校生への性教育実践活動を通して若者の性の健康支援に取り組んでいます。